

作業途中

第5回えべつ未来市民会議 「高齢化・市民活動部会」 (平成24.5.18)

	短期(すぐにでも)	中期(5年程度)	長期(10年程度)	
市民活動 (コミュニティ)	<p>自治会の会費、排雪費を払わないという課題への対応</p> <p>自治会などの市民活動が周知されていない</p> <p>若い世代との交流が必要</p> <p>除雪がきれいな地域の表彰制度</p> <p>安心して地域生活を送るための相談支援事業や窓口の充実</p> <p>「愛のふれあい交流事業(社協)」が地域の親睦に繋がっている</p> <p>女性自治会長、婦人部の人材がおらず女性の声自治会に反映されにくい</p> <p>新しい行事をやるにしても自治会の活動資金が不足</p> <p>広報を充実させ自治会に対する住民の意識の向上を図る</p> <p>上級者向けの音声PC講座</p> <p>自治会での個人情報の取り扱いの難しさ</p> <p>ミニスーパーの整備</p> <p>買い物用の巡回バスの運行</p> <p>高齢者を中心に買物・通院・コミュニティ活動への足の確保(民間バス・送迎バスの活用)</p> <p>子ども世代を巻き込むような活動、世代が重なって活動が必要</p> <p>高齢者と子どもが集える環境整備</p>	<p>まちづくり支援事業で他団体との出会いの場の設定が必要</p> <p>市民活動団体に人的余裕がない</p> <p>お金以外の部分で協働するためのコミュニケーションや連携が必要</p> <p>市民活動団体では優秀なスタッフの報酬を確保できない</p> <p>個人情報保護の壁を越えた自治会や民生委員の活動</p> <p>自治会の役員のみならず手があらず、また若手が自治会に入りにくい</p> <p>何かしたい人が気軽に集まれるコミュニティ広場の整備</p>	<p>3地区別な活動で市全体のまとまりがあまりない</p> <p>3地区合同でイベントを行えば一体感が生まれ経費節減になる</p>	<p>老人クラブの超高齢化対策</p> <p>民間への売却</p> <p>広汎性発達障害の専門家育成</p> <p>市役所の仕組み、業務に詳しい市民活動のプロの育成</p> <p>市民活動の子育て事業に市の職員を研修で活用</p>
障がい者 福祉	<p>健康診断の結果、お薬手帳の結果等をデータベース化し、予防医療に活かす(検診の補助等含め)</p> <p>障がい者介護の充実</p> <p>高齢者への学校給食の提供</p> <p>介護予防のためのまちなみ健康増進(医療費削減)必要</p> <p>単身高齢者が集まり、助け合える場づくり</p> <p>単身高齢者介護の充実</p> <p>障がい者団体の情報交換や連携の場がない</p> <p>障がい者にも成年後見制度利用支援事業の取組みが必要</p> <p>障がい者の就職相談支援</p> <p>引きこもりの人たちの働きかけ</p> <p>小学校高学年以上の障がい児の放課後支援事業</p> <p>道立高等養護学校の誘致</p> <p>障がい者の参加による市の福祉計画の策定</p> <p>デイの送迎バスを利用し、学校の空き教室を使用し、みんなが集える環境を整備し、学校給食を提供する</p>	<p>重度障がいの子が市内の学校へ通えるようなバリアフリー化が必要</p> <p>重度障がい児のための学校施設等の整備が必要</p> <p>歩道に自転車や看板などの突出物があり危険</p> <p>視覚障がい者に配慮したハード整備</p> <p>歩道を自転車と歩行者に明確に区分</p> <p>若者にも視覚障がい者のガイドヘルパーの講習費用を助成</p> <p>「ときめいく」のように障がい者が活躍できる場の確保が必要</p> <p>道立高等養護学校の誘致</p> <p>障がい者の参加による市の福祉計画の策定</p>	<p>レンガ歩道は杖に引っかけ非常に歩みにくい</p> <p>高齢化した障がい者が安心して住めるグループホーム・ケアホーム等の増設</p> <p>音声付信号の充実</p> <p>道路、店舗、公園トイレのバリアフリー化による障がい者への配慮</p> <p>道路、店舗、公園トイレのバリアフリー化による高齢者への配慮</p> <p>目的の音声標識ガイドシステムの導入</p> <p>介護施設の整備、入居基準の柔軟化</p> <p>発達障がい児が利用できるサービスや施設を提供する民間事業者の誘致</p> <p>障がい者の就労の場(会社)を作ってもらいたい</p> <p>在宅福祉において、介護保険制度外の必要なサービス、江別独自の制度をつくる</p>	<p>江別で子供を産んで、育てたいと思える医療体制づくり</p> <p>周辺自治体から医療機関利用のために江別に来ている</p> <p>子どもの医療体制(産婦人科、小児科等)の整備が必要</p> <p>医療費補助の拡大(療育手帳Bも対象に)</p> <p>優秀な医師の確保</p> <p>往診診療の充実</p> <p>市立病院の医療機器を当番制で市内開業医へ貸し出し</p> <p>他のまちへの医師派遣を行うなど市立病院が充実してきている</p> <p>個別診療科目をしっかり充実させることが必要</p>
元気なお年寄	<p>年をとっても一人で生活できるまちづくり</p> <p>地区単位や市全体で取り組むイルミネーションやアイスキャンドル</p> <p>サロンづくりの場所としてシャッター街を上手く活用</p> <p>市民の10人に1人が学生という若い力の活用</p> <p>学生を受け入れる受け皿が必要</p> <p>大学の行事への市民参加</p> <p>高齢者クラブを通じてパワフルな高齢者が交流していて心強い</p> <p>パークゴルフやゲートボールを通じたコミュニケーション</p> <p>花を植える活動(学校含む)</p> <p>若い人の意見・力の活用</p> <p>高齢者の大学利用</p> <p>大学と地域の結びつきにおいて実効性のある政策提案が必要</p>	<p>高齢者団体の色々な行事で市民が「交わる」ことが重要</p> <p>高齢者の会合等の活動により街の活性化に貢献している</p> <p>地域のサロンづくり等が必要</p> <p>主婦の意見・力の活用</p> <p>若い人の意識の中で我がまちという意識が欠けているのが残念</p> <p>4大学連携のコーディネーターがいらない</p>	<p>高齢者が活躍する街(介護保険料が安い街)</p> <p>高齢者が活躍できる(働ける)場づくり</p>	<p>市にやってもらうのが当たり前という市民意識を変えることが必要</p> <p>行政は市民活動の現場を知らない過ぎるが必要</p> <p>市民活動団体が問題を抱えているはずなのに相談がない</p> <p>市民ができないことを行政が補完するという考え方が必要</p> <p>「大麻団地まちづくり指針」の具体化で、市の指導的役割が必要</p>